

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第285号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2010年2月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体を養え

Make thy body strong in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

東海大学進学相談会開催

「TOKAI キャンパスメッセージ」連載開始



大学の先生による学科説明を熱心に聞き入る生徒と保護者



教員研修で教員も学科の特徴を勉強



吹奏楽部第20回定期演奏会(ミューザ川崎にて)

2009年度学校運営方針

キャリア教育の充実

キャリア教育の充実に向けて、全教員で取り組みます。

付属推薦の早期決定に対応し、高校2学年末には進路志望がほぼ決定できるような指導体制を確立させます。また、体験留学(科目等履修生:東海大学)、HTIC中期・長期留学、カナダ短期・中期留学を更に推進し、定着させます。

「特別学力推薦」にも積極的に取り組ませながら、希望者全員が学園内の大学・短期大学に進学できるよう指導します。

1

全教員が統合東海大学などの学部・学科の内容を理解し、適切な進路指導ができるようにします。

2

学校報「飛躍」、「PERFECT GUIDE BOOK」等を通して、東海大学の学部、学科の理解を深め、正しい進路選択ができるよう指導します。

2

キャリア教育の充実を図り、高校1学年から進路指導を徹底、自分の将来像を捉えて大学・学部選びができるように指導します。そして、高校2学年修了時には進路を決定できるよう指導します。

3

SSH研究開発の成果を学校全体の教育活動に普及させます。また、「中高生を理系進学に繋げるための委員会」と連携して、理工系への進路志望をもった生徒(女子生徒を含めた)を育成します。

4

生徒の多様な進路希望を実現させます。

5

高校1・2学年の夏期カナダ短期留学、高校3学年後期の体験留学(科目等履修生)、HTIC中期・長期留学、カナダ中期留学、東海大学エクステンションセンターなどへ意欲のある生徒を積極的に参加させ、成果を上げさせます。また、学内では、魅力ある授業(特別講座、訪問授業)を展開します。

東海大学進学相談会開催

1月9日(土)、高校2年生を対象とした「東海大学進学相談会」を開催しました。284名の保護者の方々にもご参加いただきました。大学の先生方から直接説明を聞くことができた貴重な機会でした。生徒たちは自分の選んだ2つの関心ある学部・学科の説明を、熱心に聞いていました。午後は、教員研修が行われました。大学側教員3～4名に対し本校教員5～6名でお話を伺って、たくさんの意見交換ができました。3月の付属高校生のためのオープンキャンパスも含め、進路決定に大いに役立ててほしいものです。

生徒より



自分の未来を見据えて

河田 尚大

2年3組 新宿区立牛込第三中学校

私は幼い時から、将来は父と同じ仕事に就くだろうと思っていました。今ではその仕事に就くことが私の夢となっています。しかし東海大学にはその夢を実現へと導いてくれる学部がありません。そんな中で進学相談会がありました。大学の先生方の話を聞ける機会はそう多くないため、そのチャンスを無駄にしないためにも、自分の夢に最も近い医学部の話を聞くことにしました。

東海大学医学部は医療の現場でも他大学より早く最新技術を取り入れていることや、総合大学の利点を活かし、他学部と連携して研究を進めていることを知りました。話を聞いて東海大学はすばらしい大学なんだと改めて思い、その付属高校に通っている誇りも感じました。そして医師を目指してみようとも思うようになりました。ここにきて進路についての選択肢が1つ増えたことはとても嬉しい悩みです。

しかしあまり悩んでいる時間ありません。その限られた時間の中、自分がこれから生きていく上で何がベストなのかをしっかりと考え、答えを出していきたいと思います。



大学の先生より

飛躍しようとする君たちへの言葉

中田 宗宏

東海大学工学部生命化学科 教授

皆さんは、今、大学への進路決定という人生の転機を迎えています。人生の経路を選択する「転機」は、誰にでも訪れて誰でもが経験しなければなりません。しかし、自分自身を高める「飛躍」は誰にでもありそうですが、その機会が見過ごされがちなのです。

飛躍の芽はどこで出くわすかわかりません。ましてそれが「私が飛躍の芽です」と言ってくれるわけありません。飛躍の芽は、多かれ少なかれ、きっと皆さんに訪れます。それを見逃さないで必ずつかまえてください。

これから飛躍しようとする皆さんに伝えたい言葉があります。普通なら失敗と思える実験から、ペニシリンという抗生物質や抗菌タンパク質リゾチームを発見したアレクサンダー・フレミングの言葉です。

若い人たちへ私が与えるアドバイスに、
 なんら目新しいものはありません。
 力のかぎり、体当たりで勉強しなさい。
 創造の目をしっかりと受け止められるよう心がけ、
 日頃から準備しておくことです。
 A. フレミング

TOKAI キャンパスメッセージ

観光学部観光学科 ～開設にあたって～

観光学部設置準備室長 松本 亮三

2010年4月、観光学部が開設されることになりました。学部を構成するのは観光学科1学科です。第1期生は230人以上になると予想されますが、付属高輪台高校からは34名が入学することが決定しています。

観光立国を目指す日本は、2006年には観光立国推進基本法を制定し、2008年には観光庁を創設するなど、近年観光政策を積極的に推進してきました。しかし、観光やそれに関連するサービス産業に従事する人材が圧倒的に不足しているのが現状です。人間と社会と自然の調和の上に平和な世界を構築することを建学の精神とする東海大学は、平和産業である観光に貢献し、将来の日本を託することのできる人材育成を目指して、観光学部を設置

することにしました。

東海大学の観光学科は、現在国内の39大学に設置されている観光系学科と比べると、最も幅広い教育内容をもっています。専門科目は、観光文化、サービス・マネジメント、レジャー・レクリエーション、地域デザインという4つの科目群に分かれており、世界中の歴史・文化や人間行動・心理、観光産業の経営、レジャーの活用や指導、魅力あるまちづくりなど多面的な教育を行うとともに、その研究と実践も、国内外で多くの研修や実習の機会を設けて、教員と学生が協働して行っていくと考えています。

本学観光学科の教員スタッフは、産官学の幅広い連携のもとに構成されて

います。さまざまな学問経験や実務経験をもつ教員のもとで学習した学生諸君が、やがて日本の観光をリードする人材として社会で活躍していくことを今から楽しみにしています。



世界中の観光客を集めるベネツィアのサン・マルコ広場(イタリアの世界遺産)

中等部 1 学年 だより

廉恥れんちについて

学年主任 笹木 春光

廉恥れんちとは恥を知ることであり、「恥」とは耳へんに心と書き、自己の良心に聴けという意味です。自己の良心に聴いてやましいこと、心にとがめることはすべて「恥」となり、そして恥を知るこそ正義の原点だと言われています。昔から日本人は、何か間違ったことをすれば「人に笑われるぞ」「体面をけがすな」「恥を知れ」「ご先祖様に顔向けができるか」というように「恥」という字を真正面においてこれと対決しました。その心が尊いし、態度が立派だったのです。しかし、現代はこの精神が崩壊していると言われています。

さて、皆さんが自分にとって「恥」となることは何でしょう。例えば、考えや行いが幼稚である・態度が卑怯である・人としての常識を知らない・何事にも根気がない・すぐに弱音を吐きグチを言う・大変なことからすぐに逃げたしまう・潔さがない…など。思い当たることはありませんか。

自分の一挙一動、一言一句をさらに厳しく見直してみましょう。

〈参考文献：剣道と人間教育 井上 正孝 玉川大学出版部〉

新年の抱負

高沼 真衣

1年A組 草加市立清門小学校出身

私の新年の抱負は、2つあります。1つ目は、自分から勉強に取り組むことです。いつも自分の意志でなく、他人に言われてから取り組むので自分のための勉強になっていないと思うからです。2つ目は、部活動で良い結果を出すことです。私は、陸上部と水泳部に入っています。どちらの部活動でも体力が必要なので、空いた時間に体力づくりをしたいです。さらに速く走るコツや速く泳ぐコツをマスターして、大会で良い結果を残したいです。

日塔 佳乃

1年B組 大田区立池上小学校出身

私の新年の抱負は、何事も努力するということです。昨年は東海大学付属高輪台高等学校中等部に入学し、友達と共にさまざまな経験をしました。定期試験や部活動、初めてのこともたくさんありました。今年では2年生になります。生活態度や勉強、部活動などいろいろな面でたくさん努力したいです。そして「努力は人を裏切らない」という言葉どおり、たくさんの方を成功させていきたいです。

書き初め

冬休みの国語課題として書き初めが行われました。題目は「強い意志」です。各クラス優秀賞3名が選ばれ、その中の最優秀者を書写の伊藤先生の雅号にちなみ「漢仙賞」としました。A組の漢仙賞は、中村実歩さん、B組は唐鎌弘匡君です。全生徒の作品は校内に掲示いたしました。今年も書き初めの題目どおり、生徒たちが強い意志で何事にも全力でチャレンジし、良い結果をたくさん得てほしいと思います。

中等部1年 書き初め「漢仙賞」受賞者コメント

中村 実歩

A組

今回自分の努力の結果がこういう形になってとてもうれしいです。今回の受賞をきっかけに、これで終わりではなく、これからもっと優秀な成績がとれるように練習していきたいです。



唐鎌 弘匡

B組

今回は「強い意志」という字を書きました。2日かけて頑張った結果、賞をとることができたのだと思います。今後も努力して良い作品が書けるようにしたいです。



中等部2学年だより

早いものでもう中等部2年生でいられるのもわずかとなりました。2年生となってからの10か月、どのように過ごしてきたのか、1年生の頃と比べてどのくらい成長できたのか聞いてみました。

2年生を振り返って

学習面

授業態度	授業中は話もせず、寝ることもせずに授業に集中できた。けれどあまり授業に積極的に参加することはできなかった。(2A 山形 綾香)
提出物	しっかり提出できたけれども、宿題を1、2日くらい遅れて出したことがあったので、もっとしっかりしたい。(2B 清水 郁也)
試験	試験は良い時と悪い時との差が激しい科目があった。これからはできるだけ右肩上がりにしたい。(2A 有田 達也)



6月 中等部体育祭



8月 English summer camp



1月 昼食風景

生活面

学校生活	先生方、部活動でお世話になっている先輩方には廊下などで会うたびにあいさつをしているつもりです。(2B 家前 朋美)
家庭生活	夜更かしをしないように夜の8時から9時にはちゃんと寝るようにしたが、あまり家で勉強していないので直そうと思う。(2A 巴山 大熙)
部活動	先輩が引退して部長になった時は絶対無理だと思ったけれど、周りのみんなに支えられて今すごく楽しいです。(2B 女子バスケットボール部 井上 穂乃佳)

この1年を漢字1文字で表すと？ ベスト4!!

1位(8人)	楽	いろんな先輩や後輩と仲良くなれて楽しかった。(2A 藤澤 英子)
		友達が本当にいい子たちで学校が楽しかったから。(2B 細野 智萌)
2位(6人)	変	すべての面でマイナスからプラスにできた。(2A 高橋 優人)
3位(5人)	疲	色々疲れることが多かった。部活動でも勉強でも。(2A 椎名 卓巳)
4位(3人)	良	9か月間、いいことばかりあったり、部活動でもほめられることがあり、いいことがあったから。(2B 大塚 棕一)
	伸	背が伸びたから。(2B 藤城 孝明)
	遊	いろいろな場所に行ってもものすごい遊んだから。(2B 本橋 大輝)
	欲	自分の欲望に素直になりすぎて勉強がおろそかになってしまった。(2A 藤原 暁)

1年生の頃よりここが成長した!!

国語	本を少しずつ読むようになり、授業を真剣に受けると分かるようになった。(2B 砂田 政和)
社会	1年生の頃よりやる気が出て授業で寝そうになることがなくなった。(2A 西森 奏弥)
数学	計算がちょっと早くなってケアレスミスが減りました。(2B 高宮 万梨野)
理科	勉強時間が長くなって単語を覚えられるようになった。(2B 村松 祐)
英語	ノート作りを丁寧にするようになったので復習の時に見やすくてよくなった。(2A 岩崎 静)

中等部3学年だより

新年を迎えて

中等部3年生にとって2010年は卒業の年であり、高校がスタートする新しい年でもあり、節目の年といえます。そんな2010年を迎えて、昨年1年間の振り返り、今年の抱負を語っていただきました。

早かった1年

岸浪 駿人

3年A組 板橋区立蓮根第二小学校出身

僕は、この1年間でとても早かったと思います。1年生の時と2年生の時は、遊ぶ時間がいっぱいあって、とても長く感じました。しかし、3年生になってからは、部活動が1・2年の時より忙しくなった上に、勉強も難しくなっていき、遊ぶ時間が少なくなってしまう、あっという間に1年が過ぎていった気がします。

せっかくクラスや部活動がまとまってきたのに、またバラバラになってしまうのは嫌ですが、その分残りの時間を大事にしていきたいです。



少しずつ作文力が
つきました

新しいステージへ

細田 善弘

3年A組 江戸川区立南葛西第二小学校出身

今年は中等部生活が終わり、新しく高校生になる年です。この1年は時間が過ぎるのが特に早く感じました。中等部ではいろいろな行事があり、楽しく過ごし、たくさんの体験ができました。また高校生になっていろいろな行事があると思うので楽しみです。部活動でもこれまで以上に練習し上手になりたいです。高校では中等部の時以上にいろいろと忙しくなりますが、たくさんのことに挑戦し、この3年間中等部で学んできたことを生かしていきたいです。



推薦試験に向けて
作文練習

ニュージーランド海外英語研修旅行に行ってきます!

来る2月16日から25日まで中等部3年生はニュージーランド海外英語研修旅行に行きます。ニュージーランドではホームステイをし、ホームステイ先から語学学校に通います。彼らはこの旅行に向けて、建学祭でニュージーランドに関する学習発表を行うなどの準備を進めてきました。

異国の地

小杉 健也

3年A組 墨田区立第二寺島小学校出身

僕はこの学校に入るまで日本以外の国に特に関心はありませんでした。しかしこの中等部に入り英語を学ぶと、他国のことにも興味を持つようになりました。そんな中、中等部3学年でニュージーランドに行くことになり、建学祭の時に、ニュージーランドについて調べてみましたが、興味深い面がたくさんありました。

旅行中は事故がないようにしたいです。一人ひとりが自覚を持ち、無事に帰ってきたいと思います。今からとても楽しみです。

4つの宿題

北郷 翼

3年B組 板橋区立志村小学校出身

僕達中等部3年生はニュージーランド海外英語研修旅行に向けて4つの宿題を出されました。その4つのとは、「朝自分一人で起きること」「部屋の片付けをすること」「手伝いをすること」「自分の家族の自慢ができるようにしておくこと」です。僕は正直、まだこの4つの宿題を完璧にできていません。研修旅行を良い思い出にするために16日までに4つの宿題がクリアできるように努力したいと思います。

高校1学年だより

高校2年生になるまで

8組学級担任 大塚 一磨

高校1年生も残り2か月となり、高校生活にもすっかり慣れてきましたね。そんな中みんなは12月に理系・文系クラスを決め、そのときに「自分が何をしたいか?」、「どの学部に行きたいのか?」といろいろ考えたと思います。1年生から2年生になるこの時期に将来のことを考えるということはとても大切なことです。部活動、勉強の両方によりますが、何か目標を立てることがなぜ大切かという、目標のために今何をすべきかがはっきりと分かり、行動

を起こすことができるからです。ただし、考えているだけでは何も起こりません。だからこそみんなには、他人から言われて動くのではなく、自分から行動して目の前のことから逃げずに立ち向かい、自分に厳しく言い訳をしないカッコいい大人になってほしいと思います。具体的に決まっていない人は、まず自分にとって目標ややりたいことは何なのかを考えることが最初の1歩になるのでいろいろなことに挑戦してみてください。決まっている人も決まっていない人も、1か月後に後期末試験があり、4月には学園基礎学力定着度試験があるので、しっかり計画を立てて自分が満足できる結果が出るように頑張ってください。



思い出すと...

学年所属 畠田 貴生

いよいよあと2か月で1年生のみなさんは2年生に進級しますね。学校にもすっかり慣れて、部活動等でも少しずつ責任のある立場になりつつあるのではないのでしょうか? 2年生になると文系理系に分かれ、いよいよ進路選択も本格化しますね。まだまだ、と書いていてもすぐに決断を迫られるときはやってきます。将来、どのように生きていきたいか、どんな職業に就きたいか・・・高校卒業後の進路は、みなさんの人生に大きな影響をもたらします。自分の適性や希望にあった進路を早く見つけられたらいいですね。

思い出すと私の通っていた高校も、2年生の時に文系理系に分かれました。私は、音楽大学への進学を考えていたので文系を希望していたのですが、当時の担任の先生に「理系の人数が足りないので、希望を変えてもらえないか?」と持ちかけられ、お世話になった先生のおかげでもありますし、理科も好きだったので移動を

承諾しました。2年生になり、物理や化学の勉強が始まり、特に化学には大きな興味を持ちました。たった100数種類の元素でこの世の中は成り立っているんだ、ということを知ったときのワクワク感は今でも忘れることができません。3年生になり、いよいよ進路を決定する、というときに私は正直迷っていました。私は、将来は高校の音楽の先生になって吹奏楽部の顧問をやりたい、と思っていましたが、3年時の担任であり部活動の顧問でもあった恩師に「今は音楽の先生になったり、音楽を職業にするのは厳しい。もし、吹奏楽部の顧問を目指すなら、普通の大学に進学して他教科の教員を目指さない」とアドバイスを受けたからです。悩みに悩んで、私は音大ではなく、理工学部に進学しました。そして、大学を卒業し、現在に至っています。化学の教員になることができたのも、理系を選択し、教員免許をとれる大学に進学したからです。そう思うと、高校2年生になるときにに行った選択は、まさに人生を決定づける選択だったといえます。

よく悩みよく考え、そして色々な方のアドバイスを参考にして、素敵な人生が送れる「選択」をしてください。

高校2学年だより

ハサミ

学年主任 米谷 昭人

人間ときには、やりたくないことやしたくないことを要求されることがあります。いまやらなければならないことだったら、不満そうな顔をしたり、愚痴をこぼさないでほしいと思います。口実を作って物事を避けたり愚痴を言いながらダラダラやるより、集中してやってしまったほうが時間と労力の無駄にならずにすみます。今やるべきことを、文句を言わずに行うことは時に重要になってきますし、自分自身のためになります。

ここに、さびたハサミがあるとします。頑張っても紙を切ろうとしてもさびているので力を入れないと上手に切れません。しかも時間がかかります。不満そうな顔をしたり、愚痴をこぼす行為は、ハサミに水や油をかけてさびさせていることと同じです。あなたの心のハサミはどうか？綺麗に切れますか？さび付いていますか？自分の行動しだいで綺麗に切れるハサミになりますので意識して行動してください。

意外に思われるでしょうが…

2組学級担任 吉田 恵美

以前よく通ったお総菜のチェーン店に、私が忘れられない笑顔と声があります。そのおばちゃんは深夜勤務が多らしく、寄ると必ず「おはよう～！元気～？ちゃんと寝てるの？」とか「風邪ひかないようにするんだよ！おやすみ～！」と誰にでも笑顔で大きな声で声を掛けてくれました。そのうち、おばちゃんに会いたい気持ちも手伝って、頻繁に通い、仲良くなりました。挨拶や声かけというのはどんな人間関係でも大切で、された方はそんなに親しい間柄でなくても気持ちよく、つい返事を返してしまうのだなあ、とつくづく感じました。それからはバスの乗降時(タクシーの運転手

さんにはありがとうと言うのに、バスの運転手さんには皆声かけしないですよね…)、改札の駅員さんなど、見知らぬ人にも挨拶をしています。バスの運転手さんは運転するだけ、駅員さんは立っているだけだから、きっと嬉しいだろうと勝手に解釈しながら挨拶するのですが、驚くことにちゃんと返してくれるのです。そうすると私の心も晴れ晴れとし、心が温まります。本校の生徒の皆さんは校内できちんと挨拶ができます。学校外の社会や地域でも挨拶を自分からしてみませんか？きっとお互いに気持ちよくなって、いつもの世界がぱあっと明るく見えることでしょう！

学年集会の様子(1月21日)



学年集会での級長会報告



田村基成先生による進路選択の体験談

高校3学年だより

卒業を間近に控えた3年生。2年間(9組は3年間)同じ教室で過ごしたクラスメートとの間にはたくさんの思い出ができたのではないのでしょうか。そこで、各クラスの思い出を代表の生徒に話してもらいました。

1組

「思い出」

渡邊 麻里衣

2009年の1組も、明るく盛り上がり授業に取り組んでいました。先生に注意されたりもしましたが、行事を含めそんな毎日を1組で過ごせたことは良い思い出です。残りの少ない時間も楽しんでさらに思い出をつくっていきましょう。

2組

「The Best Class」

金山 照良

2組はいつも明るい雰囲気に入れられ、絶えずにぎやかなクラスだった。授業や休み時間のみならず、放課後や部活動の大会での応援など、クラスの枠を越えたものがいくつもあった。2組は最高の「絆」を獲得できたと思う。2組のみんな、最高!!

3組

「全てが思い出!!」

廣野 慶明

3組の皆と過ごすのは2年目になりますが、より一層仲良くなれた1年になったと思います。皆と過ごす1日1日が全て僕の大切な思い出になりました!!3組で高校生活を送ることができ、本当に心から良かったと思っています!!

4組

「第二の家」

佐々木 慶介

2009年も本当にいい1年でした。体育祭や建学祭などもありましたが、私の1番の思い出は普通の学校生活でした。朝みんなに会って勉強して帰る。そんなあたりまえの日々がもうすぐ当たり前にならなくなる今、1日1日をもっと大切にしたいと思います。

5組

「最高のクラス」

上野 祐介

クラス替えをした当初、正直このクラスでやっていけるのか不安でした。しかし、学校行事などを重ねるたびにクラスは団結し、今では学年で1番のクラスだと思っています。特にアリーナでのスポーツ大会で優勝したことは最高の思い出です。今までありがとう。

6組

「高校生活」

日比 裕美

高校生活最後と思うと行事などにはとても力が入りました。クラスも協力し合い、建学祭や体育祭を盛り上げて楽しみました。級長を2年間勤めました。よい経験ができて良かったです。卒業はさみしいですが、6組の仲の良さは永遠です!ありがとうございました。

7組

「最後の建学祭」

吉澤 茉咲

高校生活で最後の建学祭、全員で力を合わせて成功できたことが1番の思い出です。私たちの店は金先生を中心に韓国の郷土料理、チヂミを作りました。結果的にたくさんの人に食べてもらうことができました。卒業まで残りわずかですが、最後まで楽しみたいです。

8組

「繋がり」

田中 拓伸

このクラスになって2年目、そして高校生活最後の年は様々なことが充実していて1年間がとても早く感じました。建学祭、体育祭など多くの行事を経て8組の繋がりがいっそう強くなったのではないかと思います。8組での思い出を皆にずっと覚えていてほしいです。

9組

「有終の美」

屋沢 良介

この1年間で1番印象に残っているのは、最後のスポーツ大会の綱引きです。優勝したことがなかった綱引きで、最後にクラス全員が団結して優勝できたのは本当に嬉しかったです。建学祭で知財グランプリ・英語ディベート優勝という輝かしい結果を残せたことは、9組の誇りです。

第2回 スーパーサイエンス教室開催

12月19日(日)、スーパーサイエンス教室を本校で開催しました。スーパーサイエンス教室は、周辺地域の小学生を対象としたSSHクラスの生徒による科学教室です。午前は東海大学の鈴木恒則先生による科学講座「箱の中で虹を作ろう!!」、午後はSSHクラスの生徒による体験実験を行いました。当日は、小学生はもちろん保護者の方も楽しんで実験に参加していました。生徒たちはこの活動を通して、普段は学ぶことのできないことをたくさん吸収できたと思います。

教える楽しさ



昼沢 良介

3年9組 船橋市立二宮中学校出身

私は午前の部で、司会と波の説明をしました。司会は緊張してしまいうまくできませんでした。説明は、ウェブマシンによってつくられた水波の影を投影し、波の干渉について説明しました。1か月前から放課後残って練習した甲斐もあり、スムーズに説明できました。そのおかげか、小学生たちは真剣に話を聞いてくれました。午後の部で

は、液体窒素でスーパーボールやゴムボールを冷やしてどうなるのかを楽しむ実験を行いました。小学生たちが1つ1つに驚いた表情を見せていました。とても嬉しかったです。

スーパーサイエンス教室に参加することができ、とても良かったです。準備は少し大変ですが、小学生と一緒に実験を行い、興味を持ってもらったとき嬉しく感じます。また、小学生が驚いている姿をみて科学の面白さを改めて知ることができました。来年も是非、スーパーサイエンス教室を行い、たくさんの小学生に理科の面白さを知ってほしいと思います。



小学生が熱心に聞いてくれました



何が見えるかなあ？

SSH生徒による体験実験コーナー

実験内容	担当生徒(学年)
立体パズル!! 裏表!!!	皆川 裕希(3) 岩田 昌也(1) 北出 紘章(1)
平面敷き詰めパズル	大出 佳奈(2) 小川 ルビ(2) 中野公美子(2) 岩男 拓実(2) 剣持 瑛行(2) 佐藤勇太郎(2) 清水 憲政(2) 辻 光世(2)
液体窒素実験	昼沢 良介(3) 篠田 有作(1)
シャボン玉であそぼ!	若林 佳祐(3) 小藤 佳奈(1)
音の音階	伊藤真由里(3)
顕微鏡	関口 佳祐(2)
ダイラタンシ	高林 佑輔(2) 渡久平瑞帆(1)
ドライアイスで実験してみよう!!	竹川 航希(2) 田端 修人(2)
スライムと磁性流体	石井 友基(3) 榎本 充(3)
クリップモーターを作ろう	宮田 隼平(2) 平田 将大(2)



液体窒素にゴムボールを入れると…



スライムは比率が大事!!



ドライアイスって…

専門職大学院による中等部1・2年生対象の SPP講座「ロボット教室」

東海大学専門職大学院組込み技術研究科がSPPの採択を受け、本校の中等部1・2年生対象に「ロボット教室」を12月19日(土)に行い、17名の生徒が参加しました。当日4種類のロボットが本校に持ち込まれ、生徒たちは2グループに分かれて、それぞれ2種類ずつ、ロボットを動かすプログラムを作ったり、実際に動かして計測したりして、しくみを理解しました。お昼は隣の専門職大学院に移動して、社会人大学院生の人たちと交流しながら昼食を食べました。午後は4グループに分かれて、今回学んだことを模造紙にまとめてポスターにして、発表会を行いました。

※SPP…科学技術や理科・数学に対する興味・関心と知的探究心等を育成することを目的とした文部科学省のプロジェクト

伊藤 健介

1年A組 品川区立大井第一小学校出身

AチームとBチームの2つに分かれて、それぞれちがうロボットを使いました。自分はAチームでした。Aチームでは「相撲ロボット」と「バイオピッチャー」というものを使いました。相撲ロボットは2本の足で立って動くことができる人型のロボットです。バイオピッチャーは人の腕のようなロボットで、腕の回転する速さや角度を変えられます。僕はバイオピッチャーより相撲ロボットのほうがおもしろかったです。この相撲ロボットは動かす前にパソコンにつないで、自分で考えたポーズをプログラムすることができます。赤外線を使ったりリモコンで動かすことができ、倒れてもボタン一つで自動的に起き上がることができます。Aチームの中でさらにグループに分かれて、それぞれ技を考えてプログラムして戦いました。

ロボットと聞いて難しい内容なのかと思っていましたが、実際に行ってみたら、とてもおもしろくてよかったです。

豊崎 倫代

2年A組 練馬区立光が丘第七小学校出身

私は今回初めて、SPPに参加しました。活動は授業の時のようにノートに何か書くということよりも、実際に作業をしたりロボットを動かしたりすることが多かったです。

私は主に「ロボットカー」について、学びました。「ロボットカー」は車型のロボットで、その中にモーターやセンサーなど色々なシステムが入っていて、マイコンとよばれるチップがそれぞれのところに命令を伝えるというものでした。特に未来の車ロボットは、無線のカメラが付いていて、カメラから送られてくる映像を見ながら、ハンドルやアクセル、ブレーキを使って自分で車を操縦することができました。実験を始める前に説明を聞いている時は「すごく難しそうだなあ」と思いましたが、実際にやってみると、そこまで難しい実験ではなく、むしろとっても面白い実験でした。

今回、SPPに参加して数学や理科が好きになりました。次回も、このような体験があったら、積極的に参加したいと思います。

山田 罔裕

東海大学専門職大学院組込み技術研究科 教授

講座の前に中等部の授業を参観させていただきました。大変素晴らしい授業と教育がなされているのを目の当たりにすることができ、中等部の生徒さんたちは大変幸せだと思いました。また今回おこなった講座の午後の発表を見て、皆さんの一生懸命さを知りました。「一生懸命」はとても大事なことです。また発表を聞いた時の生徒さんたちの質問もすばらしく、皆さんの能力がとても優れていることを知りました。疑問に対する追及は高校生になっても、大学生になっても忘れないで下さい。

文部科学省は義務教育の目的を、「生きる基本を育成する」および「生きる力をはぐくむ」と考えています。皆さんが中等部で学んでおられるのは、まさに生きるためのことなのです。そして、「自ら学び自ら考える力」が重要です。その為に、今回4つのロボットは単に知識と技術だけを知るもので無く、知りたい思い自らそれらを捜し求め学び、また疑問を持ち自ら考えるように仕向けたロボット達です(このように上手く行っていたらいいのですが)。皆さんが今後とも、自らおもむくま一生懸命がんばってもらえればと思います。

清水 寛一

東海大学専門職大学院組込み技術研究科 組み込み技術専攻 2年

この講座の目的は、少しでも理数系の科目に興味を持ってもらうことです。今回使用したロボットは、「物を投げる」ということを考える「バイオピッチャー」、人間の格闘技の動きを再現する「相撲ロボット」、距離・時間・速さの関係について再確認する「算数ロボット」、壁にぶつかりそうになったら自動で止まる未来の車の4種類です。ロボットを通じて、数学・理科について楽しく勉強できるように努力しました。「なるほど」と理解したときの感動を大切に覚えておいてほしいと思います。

私達が学んでいる組込み産業は、2009年現在6万9千人の人手不足の業界です。今回の授業を受けて、少しでもこの分野に興味を持ってくださり、将来、開発の現場と一緒に仕事ができれば素晴らしいと思います。ありがとうございました。



お知らせ

基礎力判定テスト 高1、高2

■ 日程 2月5日(金) ■ 試験科目 国語・地歴公民・数学・理科・英語

高校生として身につけておく必要のある基礎学力のチェックです。

これまでの学園テスト、外部テスト、中間・期末テストを再度見直して復習を!!

中等部3年 ニュージーランド海外英語研修旅行

日程 2月16日(火)～25日(木)

第1回目の記念すべき研修旅行です。クライストチャーチで7泊のホームステイを行います。

英語力をさらに向上させるための英語研修のほかに、

現地校訪問では現地の学校で授業に参加し、牧場では羊毛刈ショーを見学します。

十分に準備をして素晴らしい思い出を作ってください。

行事予定

February 2月

March 3月

- 1日(月) 中等部第1回入試(中高 自宅学習日)
- 2日(火) 中等部第1回入試合格発表、水曜日の授業
- 3日(水) 中等部第2回入試(中高 自宅学習日)
- 4日(木) 中等部第2回入試合格発表
生徒による授業評価アンケート(高1、2、中等部)
- 5日(金) 卒業試験(中3、～9日)
基礎力判定テスト(5教科)(高1、2)
- 8日(月) 木曜日の授業
- 9日(火) 水曜日の授業
- 10日(水) 高校一般入試(中高 自宅学習日)
- 11日(木) 建国記念の日、一般入試合否発表
- 12日(金) 一般入学手続(平常授業)、答案返却日(中3)
- 15日(月) 朝礼
- 16日(火) ニュージーランド海外英語研修旅行(中3、～25日)
校医相談日
- 17日(水) 専門医によるカウンセリング
- 21日(日) 英検2次
- 26日(金) 振替休日(中3)登校日(高3)

- 2日(火) 後期期末試験(中1、中2、高1、高2)(～5日まで)
- 5日(金) 3年生を送る会
高輪会入会式(高3)
- 7日(日) 中等部第1回卒業証書授与式(10:00)
高校第61回卒業証書授与式(10:00)
卒業祝賀会(14:30)
- 8日(月) 振替休日(生徒休業日)
- 9日(火) 採点日(高校生生徒休業日)
- 10日(水) 答案返却日、教科書販売(新中3、新高3)
- 11日(木) 生徒休業日
- 12日(金) 成績不振者指導
- 13日(土) 付属高校生のための東海大学オープンキャンパス(高2 湘南校舎)
- 15日(月) 修了式、離任式、教科書販売(新中2、新高2)
- 18日(木) 基礎力判定テスト結果補習(高1、高2 ～25日まで)
希望者講習(中等部 ～25日まで)
- 20日(土) 後援会委員総会
- 21日(日) 春分の日、関東近県SSH合同発表会
- 22日(月) 振替休日

特別講座(高校3年)



江戸東京博物館にて



デッサン



中等部のための理科実験



日本科学未来館にて

編集後記

今月号から「TOKAI キャンパス メッセージ」の連載が始まった。このコーナーでは、19学部80学科を擁する東海大学の先生方から、とくに付属生に向けて熱いメッセージを発信していただく。第1回は、この4月に開設される「観光学部観光学科」から松本亮三先生のメッセージをお送りする。観光学科には本校から、今春34名が進学する予定だ。来月号には、やはり今春からスタートする「工学部原子力工学科」からのメッセージを予定している。乞う、ご期待。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>